

# 星屑

2010年 1月号

No. 418



熊本県民天文台

**第3回 11/14(土)、木曽福島で開催されました  
天の川にやさしい街づくりシンポジウム**

**「星空の見えるまちづくり」 照明を変える 熊本での取り組み**

を発表しました。城南町型、LED型、2機種の防犯灯をデモンストレーション！



**シンポジウムの意義**

長野県の木曽福島で、木曽星の会が主催して開催されたこのシンポジウムは、人々の暮らしと星空とを共存させようと取り組んでいる他県の発表を木曽地域の方々に聞いて頂くことが第一の目的でした。彼らが体験したことのない各地での取り組み事例を知ってもらい、その中から、どのような考え方や行動で、光害対策を推進しているかを理解して頂こうという試みです。

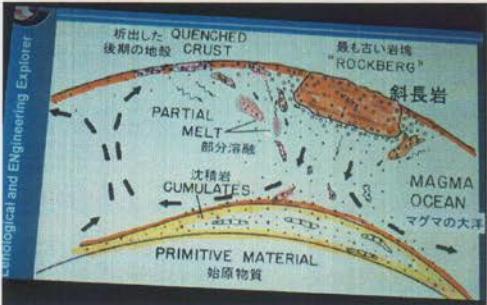
シンポジウムに参加し、発表を聞くだけでなく、質疑や意見交換を通して、街灯など夜間照明のあり方と星空環境についての関心を大いに高めてもらおうという目的もありました。さらに、このシンポジウムが契機となって、木曽地域での照明環境の改善がさらに具体的に進展するよう期待が込められていたのです。

そして、木曽地方の各地で「天の川」が容易に見える夜空の環境を確保し、この地域が「天の川にやさしい街」であることを全国に発信していくというのです。

**2泊3日、新幹線で往復**

シンポジウムが開催される木曽福島までは、熊本駅から JR 鹿児島本線（特急） → 新幹線（のぞみ号） → JR 中央西線（特急）と乗り継いで、片道およそ7時間余り。シンポジウムが開催される土曜日の午後という時間帯を考えると、1泊2日の行程を組むのはなかなか難しくて、結局2泊3日の旅程になりました。

熊本を出発したのは13日（金）のお昼頃。九州内の在来線は途中でダイヤが乱れて、博多到着が遅れました。でも、こんなこともあろうかと、予定時刻よりも早く熊本駅を発つ列車に乗ったのが正解で、博多駅では、予約通りの「のぞみ」に乗り込むことができました。



新幹線のホームでは、「のぞみ号」の先頭車両の写真を撮影している人が多くて、私もつい誘われてシャッターを切りました。

### 防犯灯が好評でした！

私は、「星空の見えるまちづくり」を紹介。「照明を変える、熊本での取り組み」と題して、特に上方光束ゼロ型の防犯灯の導入について、デモ機の点灯実演を交えて紹介しました。

日頃、「星空」に力点を置いている人が多いからでしょうか、「生活の場」に溢れる光の問題を重点に取り上げ、地域住民と対話し、協力しながら夜間照明の改善を進める「熊本方式」は、とても新鮮に感じていただけたようです。発表のあと、地域のマスコミ数社から取材を受けましたから、ロータリークラブやまちづくりの会などと連携した「市民への広がり」は、よほどインパクトが大きかったでしょうね。

### 「かぐや、月から見た地球」

発表は、岡山県美星天文台の綾仁氏、木曾青峰高校天文部、木曾星の会からもあって、光害防止条例、光害の調査結果、スポーツ施設の照明改善例などが発表されました。

最後に、JAXAの宇宙科学研究所 個体惑星科学研究系教授の加藤學氏が「かぐや 月から見た地球」について講演。かぐやが撮影したハイビジョン映像をたっぷりと見せていただき、最新の発見の数々を紹介していただきました。

### 懇親会や二次会も楽しく…

シンポジウムには、近くにある東京大学木曾観測所からも大勢の参加があって、私はたくさんの質問を受けました。討論は、とても予定されていた時間内ではおさまりきれず、場所を移動して懇親会へと続きました。それから、昔の「中山道」の重要な関所だったという木曾福島の宿場町を保存した地域を見学。その中の一軒のお店で、さらに二次会へと発展したのでした。

こんな雰囲気は、木曾観測所や木曾町、教育委員会との連携を保っているからこそできるのでしょうね。「星空の見えるまちづくり」が広がりそうな気配、日頃、天文台の運営などで精一杯の私には、とても新鮮な体験でした。

**11/21(土)、城南町子ども教室  
「ロケット打ち上げと、月や木星の観察」  
熊大天文部から学生さん2名の応援もあって、大成功！**



**ロケットで遊ぼう！**

今回の「城南町子ども教室」は、(第1部) 空気ロケット遊び、(第2部) モデルロケット打ち上げ、(第3部) 月や星の観察という例年とほぼ同じメニューで実施しました。でも、だんだん経験値が上がってきたこともあるって、あちこちに少しづつ工夫を加えてみました。さて、その成果はどうだったでしょうか？



**熊大天文部からの応援、2名！**

おかげで、機材の運搬や設営に始まり、イベントの運営、天文台への会場移動や後片付けまで、とてもスムーズに運営できました。応援、ありがとうございました。



**やっぱり人気です！**

事前の申込みは 32名でした（保護者は数に含みません）。でも、今年は新型インフルエンザが流行っていて、当日風邪などで欠席された児童が6名。主催した火の君総合文化センターの担当者も残念そうでしたが、彼の話によると、参加できなかった児童や保護者の方は、もっと残念がっていたそうです。県民天文台の「ロケット教室」は、とっても人気があるようです。



また、当日、古墳公園で飛び入りで参加された方が数名ありました。中には、小さな子どもと一緒に参加、夢中になって飛ばしている保護者も居たりして・・・・、楽しそうな姿がとても印象的でした。

**最初は「飛ばし方」講座！**

空気ロケットを飛ばすコツは、「素早く空気を圧縮すること」です。そのためには、ロケットを取り付けた「発射管」を、一気に押し下げる必要があります。簡単そうに見える操作ですが、

慣れないとなかなかうまく行きません。そこで、まず最初に「飛ばし方のコツ」を伝授、しばらく各自で練習です。始めるとき、2人一組のチームになってもらったのが功を奏したからでしょう

か、子ども達はあつという間に上達。すぐに、高く・遠く、上手にロケットを飛ばし始めました。

### 着地点競技！

うまく飛ばせるようになったら、次は目標地点に着地させる競技です。芝生の上に折りたたんだブルーシートを置き、風で飛んでいかないようバランスウェイトを置いて重しにしました、最初は、全く届かなかったり、飛びすぎたりしていた子ども達、そのうちに1人2人と、目標地点に着地させ始めました。すると、もうみんな夢中です。こうして、あつという間に予定の時間が過ぎました。そこで、全員が整列し、**一斉**

**発射をして、空気ロケット遊びを終了** しました。

### 城南中サッカー部が、発射係！

続いては、モデルロケットの打ち上げと回収です。ここで、城南中学校サッカー部の1年生10名弱が合流、ロケットの発射ボタンを押す係を務めてくれることになりました。ちょうど公園での「練習」が終わったところ、ロケットを見て興味津々だったようです。

参加した子ども達には3色に塗り分けた「☆」マークのシールを配布。服の胸に貼って、色別に3つの回収班に分かれてもらいました。また、事前にモデルロケットを渡して、全員に触ってもらいました。こうすれば、見かけとは違って、ロケットがかなり華奢な作りなのだと実感でき、回収時のロケット破損が予防できそうです。

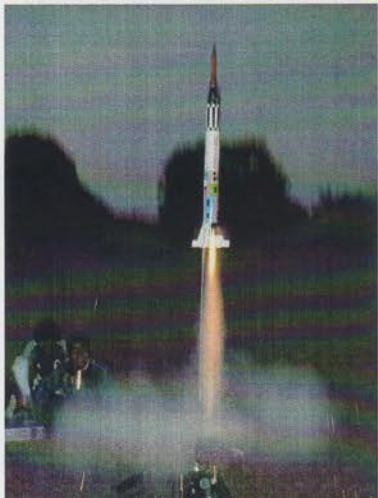
### 各班が、小型機1機、大型機1機

打ち上げと回収を楽しんでもらいました。うまくパラシュートを開いて降りてくるロケットもあれば、パラシュートが開かず、そのまま落下してくるロケットもありましたね。それでも子ども達、ロケットが打ち上がる度に大きな歓声を上げ、ロケットが降りてくる方向へ駆けだすなど、たっぷりと楽しんでくれました。

### 電子紙芝居、月・木星の観察、星空クイズ

最後は、天文台に移動して、星の観察と解説です。1階のミーティングルームでは電子紙芝居で解説。メニュー画面を投影すると、早速リクエストの嵐。賑やかでした。月も見えたし、後から木星も見て、大喜び。星空クイズの後で「お土産」に月面のクレーターの写真をプレゼントしたら、「他の写真も欲しい」と募金して下さった方もいました! 合計すると、結局40名くらいが参加していましたね。

イベントの様子を撮影して下さるスタッフが多かったので、ロケット打ち上げの瞬間まで撮っていて嬉しかったです!



# ☆☆☆☆ ちょっと一眼

## Poem & Illustration

ここ南国熊本でも、12月ともなるとさすがに冬らしい寒さになってきました。特に天文台を開ける快晴の夜には、放射冷却で一気に冷え込みます。これからは防寒対策を心がけましょう。お客様は「寒いからもう帰ります」で済むけど、運営担当はそうはいません。それから夜露対策も。原付についた夜露が真っ白に凍りつく日もそろそろやってきそうです。とはいえ、いよいよ冬本番。美しい冬のダイアモンドと流星を満喫したいですね。

そうそう、前号で、来年の干支はウシなんて書いてしまいましたが、ウシは今年の干支でしたね。正しくはトラです。思いっきり勘違いしてました。お詫びして訂正させていただきます。

皆様のもとに良い年が訪れますように。



# トラ座

ねえ

トラ座って あるの

甘ったれた猫なで声で すり寄ってきて  
期待に満ちた目で じいっと見つめても  
ないものは ないんだ

いいじゃあないか  
ひょう座だって ピューマ座だってないし  
おまけにおまえは トラでさえないので  
ヤマネコ座って あったろう

だって

ヤマネコは イエネコとは違うもの  
それに わたし  
おおきくなったら ト拉になるんだもの

ないものねだり なのは 承知の上  
分相応だとか 身の程とか いやだけど  
無限の可能性とか 個性の發揮とか も 重いの  
だから  
知らない振りして いうんだ

ねえ わたし ト拉座のト拉になるんだよ  
って



By Dio

# 2009年11月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 6日／13日 = 46.2% 総開台日数 8日  
一般来台者数 60名 会員来台数 21名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
3日 (火)	晴れ	艶島	0人	祭日で快晴ですから一般公開しようと思ってやつてきただけれど、お客様はなし。20時までにマングを読んで帰ります。寒いです！
6日 (金)	薄曇り	西嶋 艶島	0人	薄雲ごしに木星など見えてはいましたが・・・。お客様0でした。熊大天研からの電話。14日のトークアバウトに20名近くくるそうです！
7日 (土)	晴れ／ 曇り	中島 艶島	9人	木星・天王星・海王星・カペラ・アルデバラン ・薄曇りでなかなかはっきり見えなくて残念！ ・木星はよく見えました。衛星が一直線に片側に並んでいて、なかなかよかったです。
14日 (土)	曇り	中島  中島 西嶋 小林ま 熊大天研8 人	6人 熊大天研8人	木星、アルビレオ 曇りになってしまって残念！熊大天研から8人も来たのに星は見えず！  トークアバウト 星屑発送作業 トークアバウト 大掃除を12月12日（土）の昼から実施することに
15日 (日)	晴れ／ 曇り	艶島 小林ま	2人	お客様が来られた9時前から曇り、何も見えず。スリッパを購入しました。 星屑をメール便で発送済み。

日付	天気	担当運営	来台数	記　事
2 1 日 (土)	曇り	中島 艶島 熊大天研 2 人	2 8 名	<p>城南町子ども教室 16:30~18:30 ・空気ロケット ・モデルロケット打ち上げ ・電子紙芝居 ・木星観望会</p> <p>曇って残念でした。しかし、木星は全員見ることができてよかったです。</p> <p>彗星観測</p>
2 3 日 (火)	晴れ	艶島	0 人	<p>祭日で晴れたので運営しにきました。 でも、お客様はナシ。 久しぶりに撮影してみました。 ・・・とは言っても、いつもの M 45、カ リフォルニア星雲、M 42など 24時を過ぎて、空が暗くなった頃、自動導入 の赤経か赤緯かどちらかが脱調し始めました。 「ピーッ！！」と甲高いモーター音になって導 入に失敗。少し雲も出始めたので、やめました。</p>
2 8 日 (土)	晴れ	中島 艶島	7 人	<p>月と木星</p> <p>7人でしたがとても賑やかにいきました。月が とってもきれいでよかったです！</p>



## B5のたわごと

暖冬という予報で安心していたら、12月に入っていきなり寒くなりましたね。暖冬という予報だったので、油断していました。こんなに寒暖の差があると、体調管理も難しいです。なので私は、毎日イソジンでうがいをしていますよ。新型病原菌は怖いですからね。( ^\_^;) さて、2010年は1日初っぱなから満月で、しかも月食まであるので二重にめでたい気がするのですが、私だけ? 今年もあと僅かになりました。一年間お世話になりました。来年も皆様にとって良い年でありますように。 m(\_ \_)m

### ☆ 1月の天文現象&行事☆

- 1日（金） 満月（04：13） 部分月食（食の最大 4時22.6分）  
初日の出（熊本の初日の出は07：20頃から）
- 3日（日） 地球が近日点通過（08:59 1億4709万8029km 太陽視直径32'35"）
- 4日（月） 四分儀座流星群が極大
- 5日（火） 水星が内合（01:13 4.8等 視直径10.0"）  
小寒（じょうかん…寒冷一段と厳しくなる。俗に「寒の入り」）
- 7日（木） 下弦（19：39）
- 11日（月） 金星が外合（17:31 -3.9等 視直径9.7"）
- 12日（火） 月が最南（17:32 赤緯-25°47'.9 本年最南）
- 15日（金） 新月（16：11） 部分日食（熊本では半分ほど欠けて見られます）  
夕方の関東以西で、部分日食日没帯食。日食メガネで見て下さいね。
- 17日（土） トーケアバウト（天文台にて 20：00～ 変更の場合もあります）
- 20日（水） 大寒（だいかん…寒さは極限。寒の入り（小寒）から数えて16日目頃）
- 23日（土） 上弦（19：53）
- 25日（月） プレアデス星団、おうし座ヶ月星アルキオーネ（3.0等）の食  
(20:12→21:34 福岡：暗縁から潜入) 今回のシーズン最後の食
- 27日（水） 月が最北（06:01 赤緯+25°47'.1 本年最北）  
水星が西方最大離角（14:23 -0.1等 視直径06.7"）
- 28日（木） 火星が最接近（04:01 9932万9831km -1.3等 視直径14.1"）
- 30日（土） 満月（15：18） ブルームーン（意味は調べて下さい。色々面白いですよ）  
月の距離が本年最近（18:05 356596km 視直径33.6'）
- 31日（日） 火星が衝（02:29 -1.3等 視直径14.1"）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2010年1月号 通巻418号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige@kcaohige.com 中島まで